

I 本校の概要

1 校区の概要

本校区は、高松市街の東方約2km、人口8,532人、世帯数4,310戸（令和5年4月1日現在）、町としては県下最大の人口・世帯数を抱える木太町の北部にある。

学校は、北に国道11号線、南に県道牟礼中新線、東に春日川、西に詰田川に囲まれた中心部に位置する。

昔は農村地帯であったが、高松市のドーナツ化現象に伴い、大規模マンションや新興住宅の開発が盛んに行われ、ベッドタウン化が進んできた地域である。そのため、木太小学校が30年程前にはマンモス化し、これを解消するため、平成2年度に本校を分離新設し、令和元年度には学校創立30周年を迎えた。

地域の人々の教育への関心・協力度は高く、PTA活動をはじめ、子ども会活動・スポーツ少年団活動等が積極的に行われている。

児童は、明るく素直で活動性があり、友人関係も良好である。学校では、なかまを大切にする心の育成、なかまと切磋琢磨しながら自分のもてる力を最大限に発揮できるような学習指導、また、その場に応じた適切な言動や行動がとれる子どもの育成等に努めている。

【校区周辺の様子】

